

「Do-nou(土のう)」を世界共通語に！

自分たちの道は自分たちで拓く



4月3日 かんさい元気人リレートーク第10回
NPO法人 道普請人（みちぶしんびと） 福林良典
<http://michibushinbito.ecnet.jp>





発表の内容

1. 道普請人の団体概要
2. 道普請人の活動目的・内容・展開
3. 道普請人の目標
4. 道普請人の紆余曲折



伝えたいこと・話合いたいこと

1. 何て読むの？ どういう意味？
2. 「土のう」で道がなおるの？
3. なんで「土のう」なん？
4. インフラ整備するNGOって？
5. ほんまに元気人？
6. もっと元気にするには？

なんて読むの？

道普請人：みちぶしんびと（道普請＋人）

「道普請（みちぶしん）」を実践する人々の集まり

「道普請（みちぶしん）」の心を持つ人々を世界に広める活動



道普請（
時は、み

新井宗幸監修：目で見える五條・吉野の100年，p.99，郷土出版社，2006．

うである。当

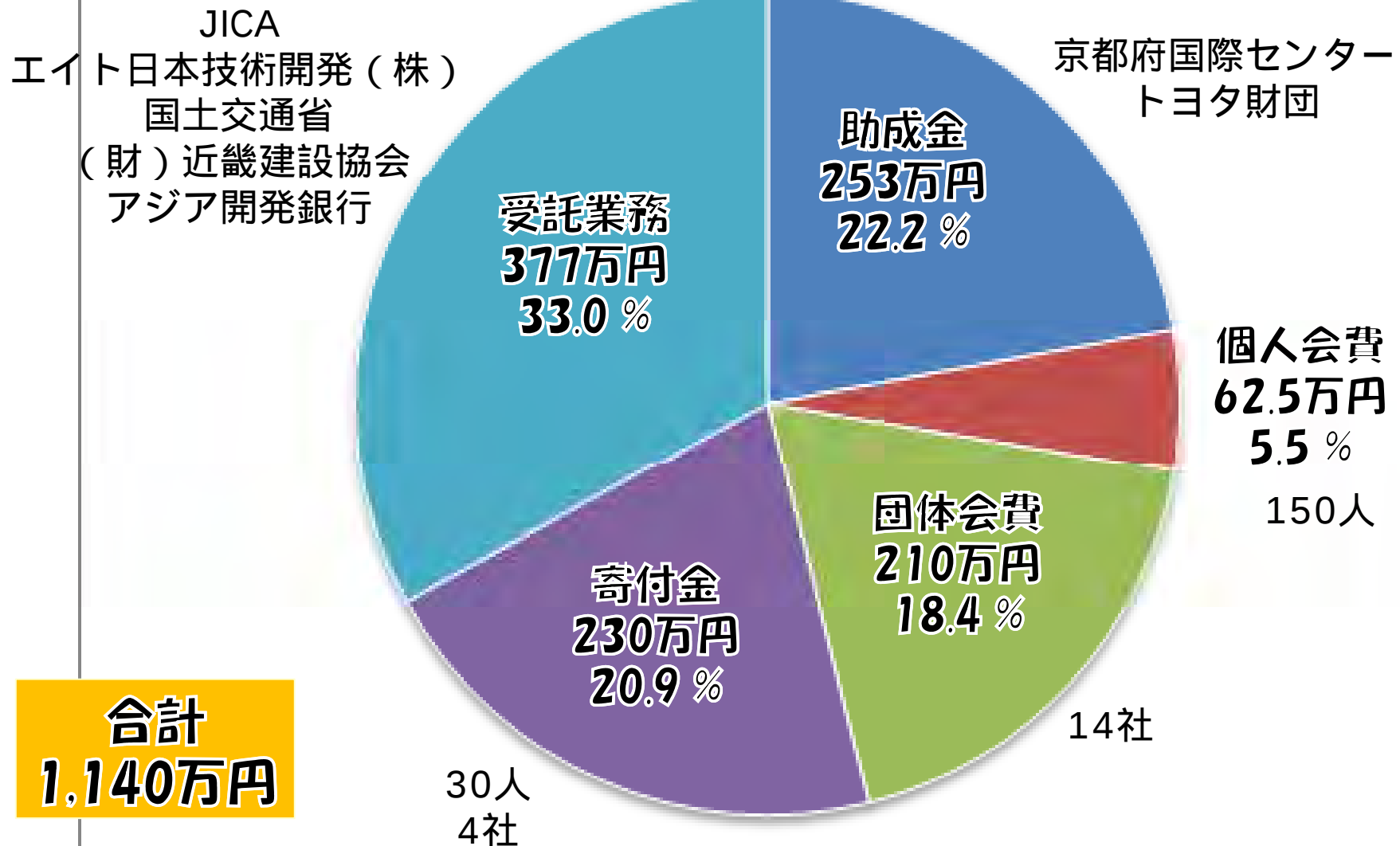


こんな団体です

活動開始時期	2005年9月（大学博士後期課程研究の一環）
法人設立時	2007年12月
理事長	木村 亮、京都大学教授（土木工学系）
会員数	個人約150人、団体14社 （役員の親族、友人、知合） （建設系会社）
職員数	6名（有給4名、無給2名） 2名：ケニア常駐日本人（有給） 1名：パプアニューギニア常駐（有給） 1名（福林）：専属あちこち、海外10月/年（有給） 2名：日本国内（ボランティア）
事業費	1,140万円（07年度300万円、08年度550万円）
事務所	福林自宅 => ひとまち記念交流館へ（2010年度より）



収入の内訳



「道普請人」の活動の目的

開発途上国農村地域の活性化のため、現地資源を有効利用し農民自身が農道(農村簡便社会基盤)を整備し維持管理することを目指す。
そして人々の自信とやる気を引き出し、生活改善意欲を高め行動を啓発することで、世界の貧困削減に寄与することを目的とする。



作物を運べない



病院へ辿りつけない

国際協力、インフラ整備 = 悪 ですか？

ある財団、ドナー機関

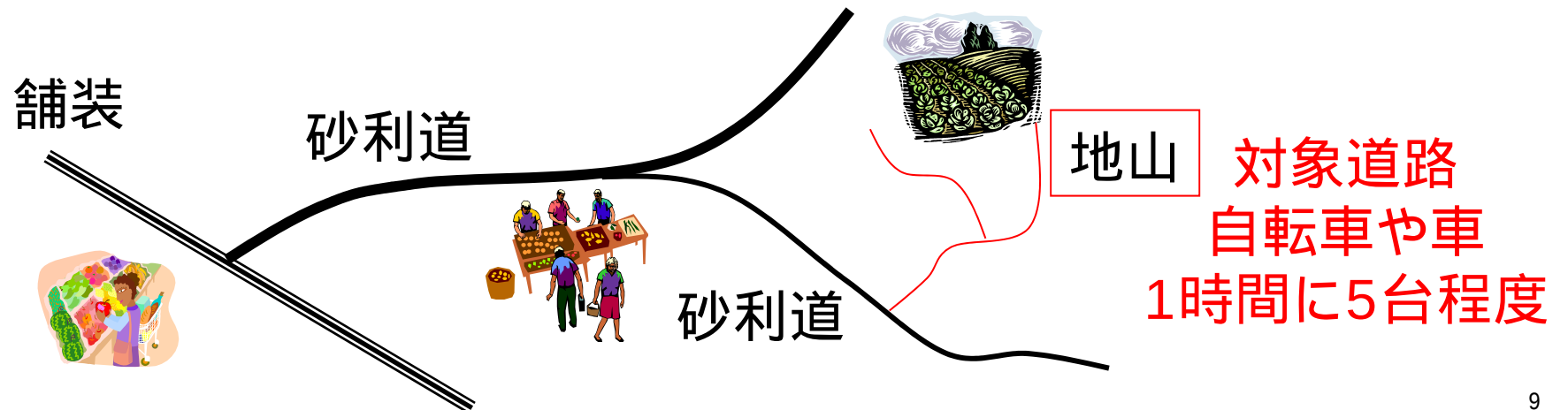
「うちはインフラ整備プロジェクトには支援しません」
高額だから（1車線5,000円/m）？（土のう、500円/m）
現地の人々が裨益しない？



インフラという言葉の印象

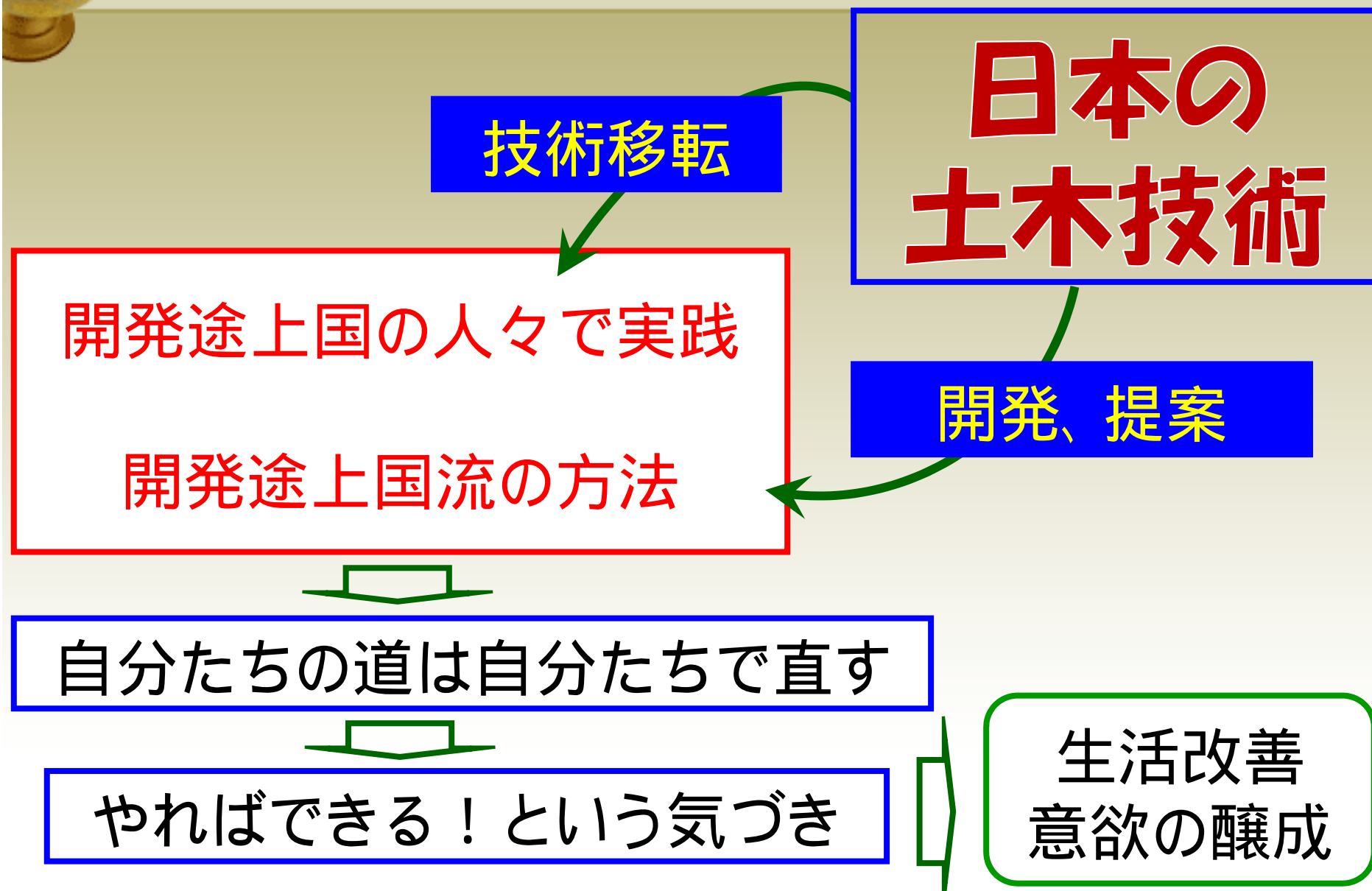


途上国の道路網の様子





「道普請人」の開発途上国農村部 社会基盤整備に向けたアプローチ



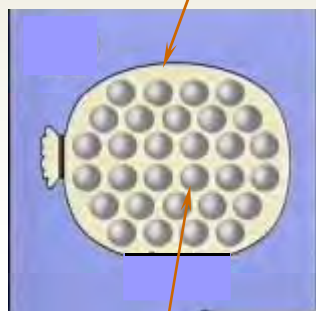
「土のう」で道を直せるの？



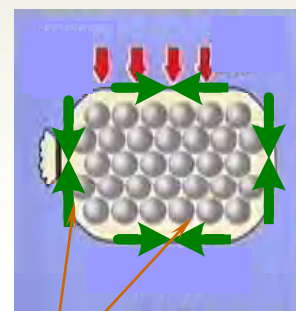
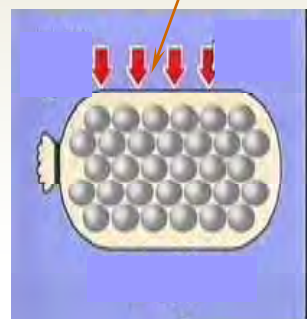
土のうが車の
重さを支えます！

土のう袋

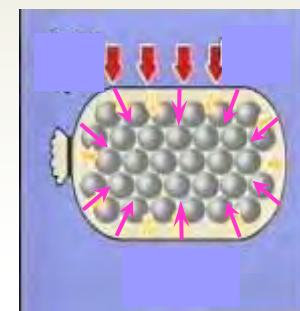
締め固め



土



袋がピンと張る

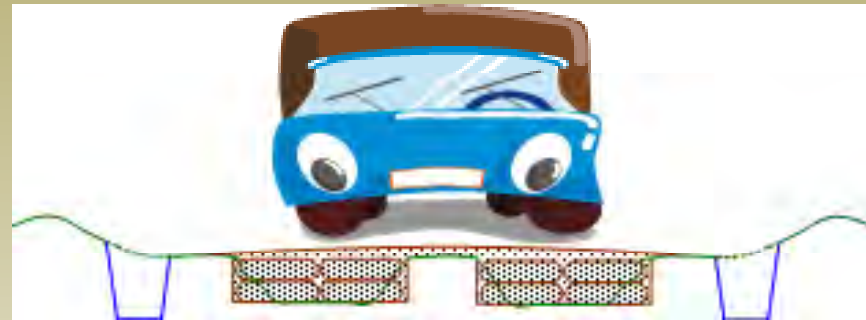


袋が中の土と土
がくっつき固くなる

いつまで、もつの？



対策



土のう表面は、土で覆う。

4年間、もっています。

紫外線にさらされ、破れる土のう袋

2006年



2009年



ただし、壊れても自分たちで修復することで、いつまでももたすことができる。



土のう袋は現地にありますか？

農業国 = > 穀物用袋として出回る = > 中古を利用(25kg用袋が利用しやすい)



パプアニューギニア



カメルーン



ケニア



タンザニア



7カ国、11 kmの農道を整備（2005年9月～

施工前



施工後





ほっとけない道がある！

雨季に通行可能な土のう盛土の歩道整備

雨季



乾季



100年に一度の大雨で壊れても、自分たちで修復した！





乾季に水が欲しい！

ため池ダム構築





なぜ、「土のう」で道直しか？

1. 現地調達可能な材料を使うこと
2. 人力施工が可能なこと
3. 施工方法が単純であること
4. 汗をかいた分、すぐに道が目に見えて直ること
5. 道を通る多くの人々に感謝されること
6. 様々な工夫ができ、汎用性が高いこと
7. 壊れても自分たちで修復できる（効果が持続）



自分たちで道を直せるようになったら、次は？

「自信を持ち、やる気になる」



問題解決意欲

2007.8



自分たちで橋補修



- ・地方行政への協力要請
- ・募金
- ・ボランティア

2007.4

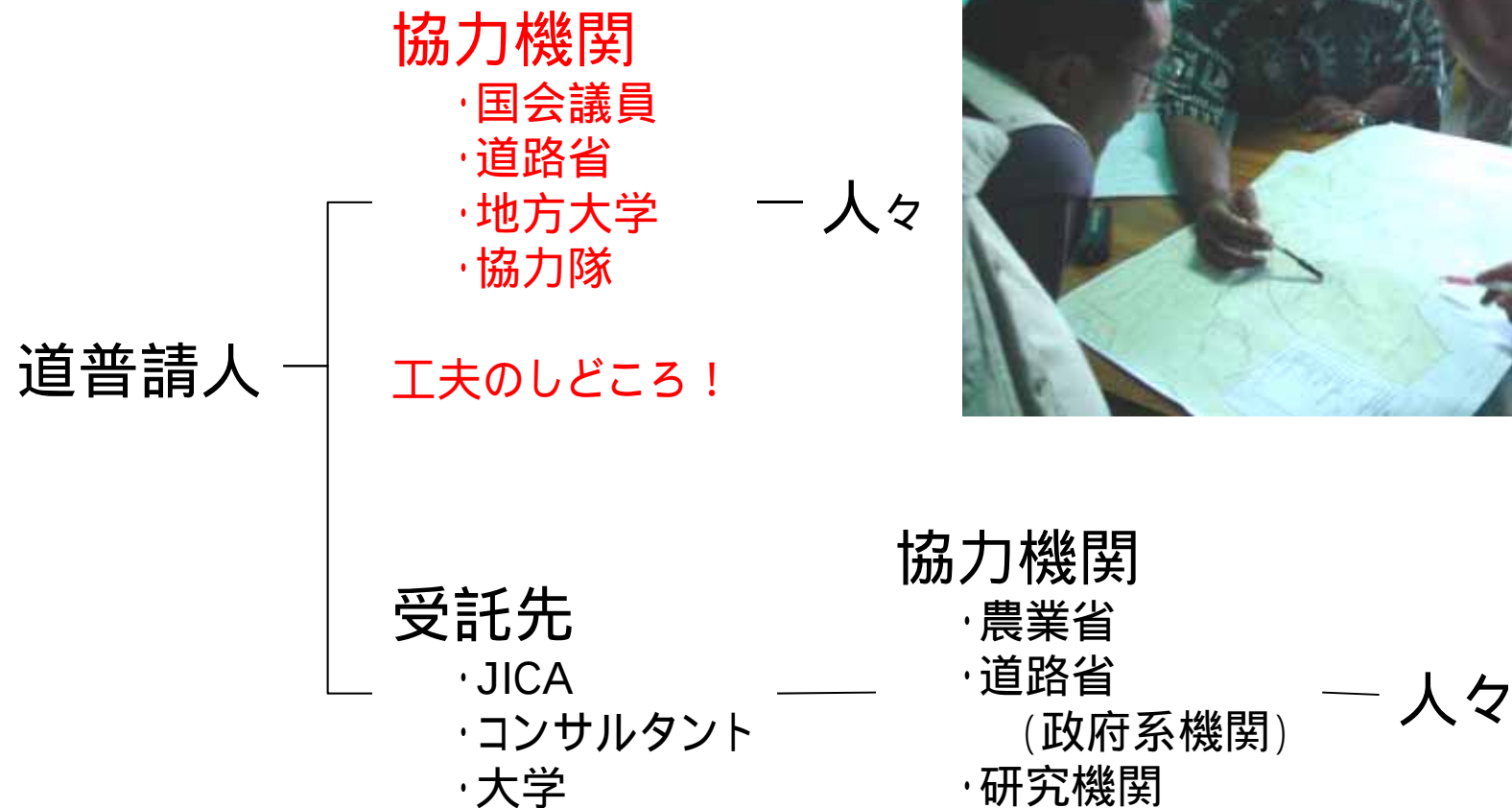


2008.11

より安定した構造へ



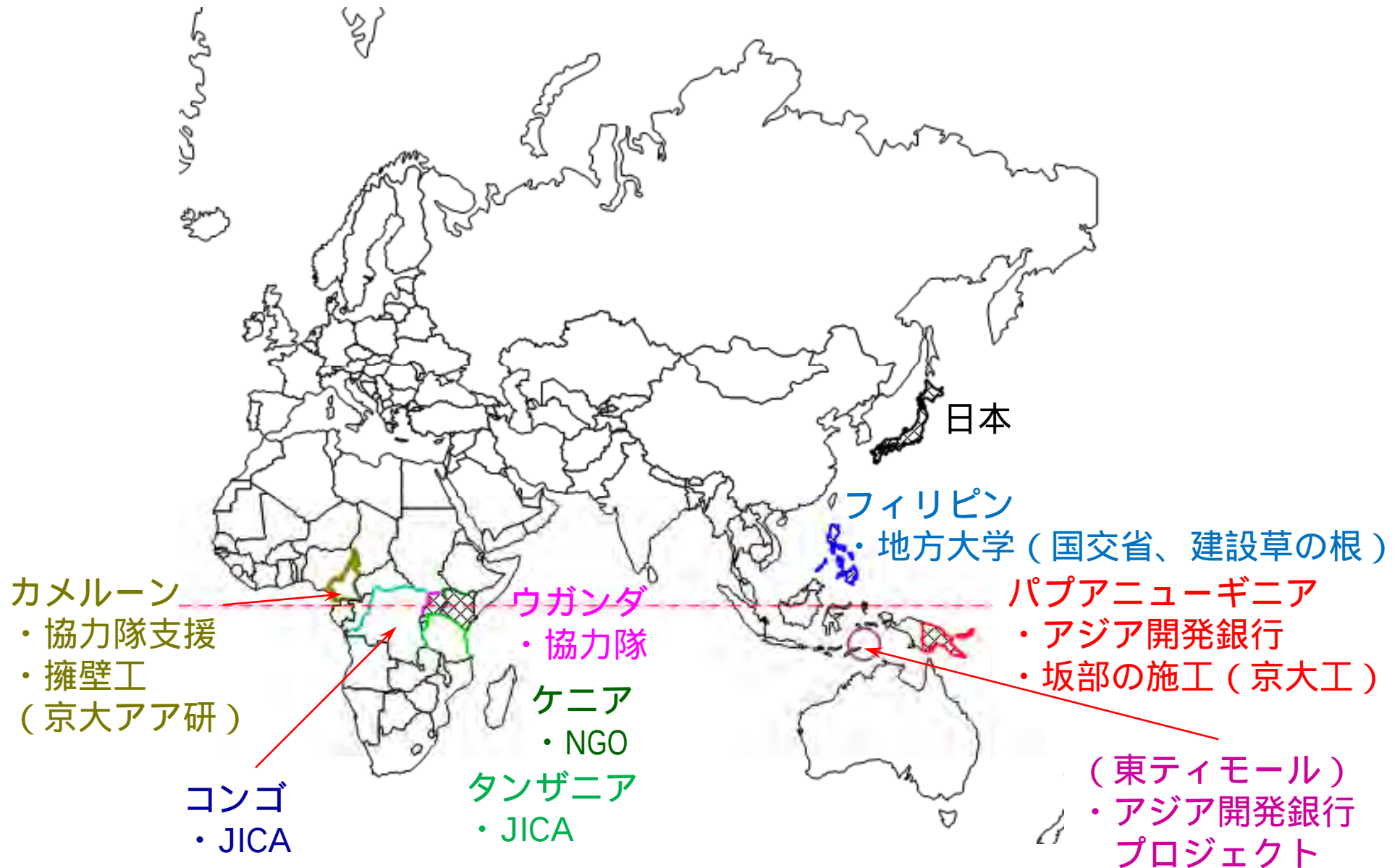
どう人々に技術・意識を伝えるか？ 普及・持続性のために





世界に広がる「道普請人」

ー 様々なコミュニティへのアプローチ ー



「道普請人」の可能性

土木（シビル）エンジニア
としての専門技術

1. 社会基盤整備
2. ものづくり
3. 地域とのコミュニケーション

「道普請人」
の活動

社会の要請

開発途上国にて
1. 農道整備
2. 能力開発
（貧困削減）
に貢献

他分野

- （・農業
- ・コミュニティ開発
- ・環境
- ・保健など）

との連携や他地域で
さらに活動の場を拡大



農民グループへの研修



3年目の飛躍を目指して

「ケニアではNGO職員は高給取り」（ワールドビジョンなど）

- 1. 日本発、国際NGOに育てる！
- 2. 「がまん大会」はしない！
- 3. 事業規模3,000万円とする！

現場実績

ファンドレイジング

事務・経理・広報

- 1. 3本柱のバランスは？ 人員体制は？
- 2. お金が先ですか、人が先ですか？
- 3. 最初は「がまん大会」必要ですか？
- 4. NPO職員が一枚岩で力を発揮するには？
- 5. つい、個人資本を投入してしまうのですが？



現場を進めて実績を積む！

2010									2011		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←→ パプアニューギニア アジア開発銀行						←→ パプアニューギニア アジア開発銀行					
			←→ タンザニア コンサルタント（JICA）								
									←→ ケニア （JICA）		
←→ 事務・Hpブログ・助成金申請書・実績のまとめ											

つながるネットワーク（インターネット）

元気人、までの足取り



大学生で恩師（理事長）との出会い



社会・現場経験（1998 - 2004）

2004年：32才の決断、博士課程へ

2004年：一本の電話「テーマはアフリカや」

2004 - 2007年：開発ワーカー修行（研究開発、語学）

2007年：卒業後、成果を活かすか（NPO）、社会人復帰か（定職）？

2008 - 2009年：専門家の仕事（ケニア6カ月、8カ月、帰国すると居場所がない！）

2009年：NPOが大型案件の受注、採択率6%の助成金（一人よがりではない！）

2009年：家族の同意と応援

2010年：本気に。（当面の収入見込 + 自信）

認知度の向上、自宅外の事務所、同志

KSEN発足

手応え



応援、そして期待してください



ケニア



タンザニア



パプアニューギニア



フィリピン



ありがとうございました。



土のう（Do-nou）と道普請人たち、ケニア



おまけ

